

寺報

令和6年(2024)孟蘭盆会第157号(1)

発行 福島市田沢字寺前18
長秀院・仲興寺
TEL 024(548)1240
FAX 024(573)1202
ホームページ <http://www.choshuin.jp/>
e-mail choshuin@rainbow.plala.or.jp



発行責任 渡辺 祥文
編集責任 渡辺 秀憲



— 暑中お見舞申し上げます —

盂蘭盆会



お盆は正式には、孟蘭盆会とい
います。略して「お盆」となりました。
中国で作られたお経である「仏説・
孟蘭盆経」が由来とされますが、
中国の祖霊信仰に日本の農耕儀礼
が交じり仏教に取り入れられ、中
国と日本で広まりました。現在ま
でに約千五百年の歴史を有すると
言われています。

お盆には、亡き人々も、生きて
いる人々もみな里帰りします。み
なが盆棚・仏壇を中心に集まる懐
しく楽しい一時です。

コロナ禍が完全に終わったわけ
ではありませんが、お盆の大切な
一時をみなで語り、先祖とわたし
たち、そして生きているものの「絆」
をかみしめて過ごしたいものです。

案内板

本年は、少しずつ従前へ戻
します。ただ不特定多数参
加の行事は慎重に判断いた
します。

盆踊り大会(長秀院護持会主催)

本年は盆踊りも例年通り八
月十五日に行います。

仏教会主催とろうろう流し

八月十七日(福島市仏教会主催)
本年は従前通りの法要を
行う予定です。

また、皆様のとろうろうも申
し受けます。

令和六年 孟蘭盆会

山主拝

七月十五日現在、新型コ
ロナウイルス感染症「第十
二波」の感染が拡大してい
るとの報道があります。

今後とも状況により行事等
についてお知らせ致します。

雲水日記 その十五

渡辺 秀憲

厳しい夏の日差しに、猛暑の季節となりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

前回は道元禅師の教えを学ぶ「眼蔵会」についてでした。今回は、毎年七月ごろに行われる「白山拝登」はくさんはいじょうについてです。

永平寺では、毎日の修行生活を無事に勤められるよう護まもつてくださるとして、「白山大権現」はくさんだいこんげんをお祀りまつしています。かつて道元禅師が、中国での修行を終え日本に帰ろうとした夜、持ち帰ろうとした経典の書写がどうしても終わりませんでした。その際に白衣の神人が現れ、書写を手伝い無事に日本に経典を持ち帰ることができた、という伝説があります。この

時現れた神人が、白山大権現であると信じられています。

このことから白山大権現を永平寺の鎮守神じゆとしてお祀りしております。そして日々の修行生活の無事を守ってくださる感謝をあらわすため、毎年七月にご神体である白山連峰に登り、山頂にあるお社をお参りするのです。

移動は貸し切りバス、日程は一泊二日。修行生活を初めて四ヶ月、新入り修行僧たちにとっては貴重な永平寺の外に出る機会です。日々同じリズムの修行生活から離れられることにはしゃぐ者も多いのですが、たいていは白山に登り始めてすぐに閉口します。

山頂「御前峰」ごぜんがみねの標高は二七〇二メートル。登山口からの標高差は一三〇〇メートル程で、約半日かけて山頂を目指します。夏の午後の暑い日差しを受けらるうちに、最初の楽しそうな顔はどこへやら、次第にただ足を持ち上げるだけの機械のようになります。その横を一般の登山者が悠々と追いついていき、修行僧たちは登山の先達者を尊敬のまなざしで見送るのです。

山頂前の山小屋にて一泊し、日の出前に出発してご来光を拝みます。登りの暑さは打って変わって、早朝の山頂近くの気温はまるで冬のように。しかし山頂の絶景は素晴らしく、みな寒さなど忘れて見惚れます。登りの苦労も雲海とご来光の絶景は修行僧にとって一生忘れえない思い出となるのでした。



新型コロナウイルス感染症 第十一波と感染防止について



七月中旬の報道等によると新型コロナウイルス感染症が現在感染者数においては増えているということです（病院来院者数等）。こどもたちや若者に広く感染し比較的軽症といわれていますが、新たな変異株が全世代に感染拡大すると厳しい状況となり、ピークが八月との予想が出ています。今後とも寺院としての対応を臨機応変に考えてまいります。感染症法上の分類は第五類となつて一年以上たち、人の動きは特に活発になりました。高齢者等はまだまだ予断を許さないといいことでしょう。頑張つてまいります。

(住職 拝記)

八月十七日 福島市仏教会主催

「とうろう流し」隈畔で開催

※とうろうの申込みは例年通り、各寺院へ申込みをお願いします。
(各自独自のとうろうの持込みはありません。)

令和六年 流灯会

真心を一灯に託して

福島とうろう流し

第41回

花火大会



とき 令和六年 八月十七日(土)

ところ 阿武隈川県庁裏隈畔

じかん 午後5時~6時 とうろう受付

午後6時30分 式典

午後7時15分 花火打上

午後7時45分 花火終了

- とうろうお申込み 二千元
- 花火は観覧無料

今年の夏のこども坐禅会

◆ 8月7日 開催
蓬萊学習センター こども広場

今年は、14名の参加者が坐禅・写経の「心の勉強」につとめます。



(写真は昨年の様子)

福島県宗務所関係行事について

● 本山研修会 (大本山永平寺)

(九月九日〜十二日) …… 開催

● 梅花流福島県奉詠大会

(十一月五日 於 パルセ飯坂) …… 開催



八月十日(土) 午後四時 長秀院慈雲閣

長秀院盂蘭盆供養会 (総供養・新盆供養を行います)

八月十三日(火) 午後四時 仲興寺本堂

仲興寺盂蘭盆供養会 (総供養・新盆供養を行います)

八月十三日(火)〜十六日(金)

盂蘭盆会

八月十五日(木)

長秀院盆踊り大会 (八月十五日の夕べ)

八月十七日(土)

流灯会とうろう流し (福島市仏教会主催)

おねがい

お盆前後は行事も多く、住職が不在がちになります。種々の相談等でお急ぎの場合は電話またはFAXにてご確認下さい。

電話 〇二四一五四八一二四〇
FAX 〇二四一五七三一二〇二

盂蘭盆会総供養のしおり



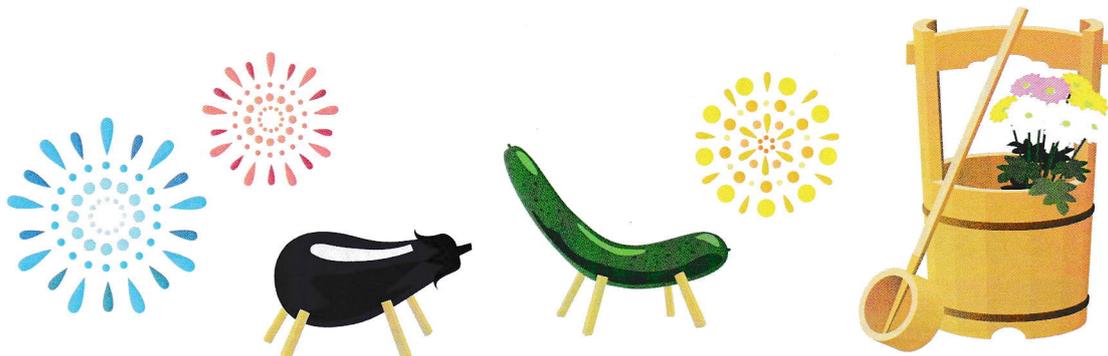
1 お盆の行事

お盆の正式な名称は「盂蘭盆会」と言います。サンスクリット語（古代インド語）の「ウランバーナ」という言葉に由来すると言われていています。やがて「ウランバーナ」が中国において音をまねて「盂蘭盆」という言葉に漢訳され、日本に伝わり、略されて通称「お盆」と言われるようになりました。日本においては特にご先祖方や各精霊が家庭に里帰りされゆっくりと過し、家族親族で供養の誠を尽くし、またお見送りをする時と考えています。

2 新盆のご供養

「新盆」は、当地福島では「あらぼん」と呼びます。そのほか全国的には「にいぼん」「しんぼん」とも言い、また「初盆」とも言います。

亡き精霊がご先祖になり、初めて迎えるお盆であり、特別にねんごろにご供養いたします。ほとけ様の世界から、初めての里帰りと考えての供養です。



3 お盆のご供養の流れと呼び方

*「七月盆」…7月13日から7月16日までが、正式なお盆期間です。東京をはじめ関東を中心に、全国に七月盆の地域があります。別名「新盆（しんぼん）」、全国の2～3割が七月盆です。

*「八月盆」…別名では「旧盆、月遅れのお盆」とも言われます。

農業関係の収穫に由来するとともに、また旧暦にあわせてとも、さらに夏休み休暇による帰省に好都合だったから等、諸説ありますが、広く全国で行われています。

大切なときですので、亡き方々に夏の季節のもの、好物をお供えし、心からなる供養をおつとめいたしましょう。

八月盆の流れ

- ・ 8月7日 … 七日盆（なのかぼん）お盆の飾りつけをする
- ・ 8月13日 … 迎盆（むかえぼん）夕方迎え火を軒先で焚き、
ご先祖をお迎えする
- ・ 盆中 …… 盆踊り等の行事 盆踊りは先祖を囲んでの行事
- ・ 8月16日 … 送盆（おくりぼん）ご先祖がほとけの世界にお帰りになるので、お見送りをする
- ・ 8月20日 … 二十日盆（はつかぼん）実家に帰ってのお盆行事
- ・ 8月24日 … 地藏盆（じぞうぼん）お地藏様を中心にお盆供養
- ・ 8月30日 … 晦日盆（みそかぼん）収穫等の関係で、遅いお盆

